

株式会社ブリヂストン
パブリックリレーション部門
東京都中央区京橋 3 丁目 1 番 1 号
〒104-8340
電話：03-6836-3333
FAX：03-6836-3184
<https://www.bridgestone.co.jp>

2022 年 8 月 30 日

ブリヂストン、グアユールの事業化に向けて投資を強化

天然ゴムの供給源の多様化に向けた取り組みを通じて、
より良い地球環境を将来世代に引き継ぐ

株式会社ブリヂストンの米州グループ会社であるブリヂストン アメリカス インクは、タイヤの原材料となる天然ゴムの持続的な供給に向けて、米国・アリゾナ州に保有するグアユール農園への投資を強化することを決定しました。今回の投資は、グアユール由来の天然ゴムの実用化（2026 年）へ向けたもので、2025 年までに約 40 百万米ドル（約 50 億円）※¹を予定しています。また、地域の農家やアメリカ先住民の方々と協力し、最大 25,000 エーカー（約 100km²）までの新たな植栽による規模の拡大を図ります。さらに、2030 年へ向けては本格的な生産・事業化（2030 年）を目指し、バイオ技術を活用したグアユールの栽培・グアユール由来のゴムの生産拡大への計画検討を進めています。

天然ゴム供給源の多様化に向けた取り組みを通じて、企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」※²で掲げる「Ecology 持続可能なタイヤとソリューションの普及を通じ、より良い地球環境を将来世代に引き継ぐこと」、「Energy カーボンニュートラルなモビリティ社会の実現を支えること」にコミットしていきます。



米国・アリゾナ州のグアユール農園

ブリヂストングループ（ブリヂストン）は、サステナビリティを経営の中核に据え、ビジョン「2050 年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」に向けて、「断トツ※³商品」を「創って売る」「使う」「戻す」といった、当社グループのバリューチェーン全体でサーキュラーエコノミー、カーボンニュートラル化への取り組みと、ビジネスモデルを連動させる「サステナビリティビジネス構想」の実現に向けた取り組みを加速しています。持続可能なタイヤとソリューションの普及によって、安心・安全な人とモノの移動を支え続けることに貢献する

ためにも、地域社会とも連携し、タイヤの主要な原材料である天然ゴム資源を持続的に確保していくことが重要だと考えています。

< グアユール事業について >

グアユールは、米国南西部からメキシコ北部に広がる砂漠に自生する、干ばつ耐性が高い低木です。従来型の農機を使い、コスト効率よく栽培することが可能で、綿などの植物に対しておよそ半分の水で栽培することができます。また、グアユールを多く植栽することで CO₂ 吸収の増加に貢献するなど、環境負荷の低減に寄与します。

ブリヂストンは、2012 年にグアユールの研究活動を本格的に開始した後、米国・アリゾナ州に研究施設と 281 エーカー（約 1.1km²）のグアユール研究農園を設立・運営しています。2030 年の事業化に向けて、これまでも約 130 億円以上を投資してきており、グアユール由来の天然ゴムを使用したタイヤの完成（2015 年）やゲノム解析による優良種の拡大を推進するなど着実な成果につなげています。また、米国農務省の国立食品農業研究所によって研究開発支援対象へ採択され（2017 年）、米国エネルギー省の共同ゲノム研究所からグアユール収量最適化のための研究助成金を受領（2021 年）するなど多くの政府機関より支援を頂いています。^{※4}

また、ブリヂストンは、将来に向けて持続的に成長するために、当社グループのコアコンピタンスが生きる事業領域での技術、ビジネスモデルの探索を進めており、グアユール事業を探索事業の一つとして位置付けています。実用化・事業化に向けた取り組みにおいてはパートナーとの共創が不可欠であり、これまでも Versatile 社と商用化に向けた提携を進めています（米）。また、NRGene 社とグアユールの高度な科学的研究を推進すると共に（米・日）、キリンホールディングス社と天然ゴムの生産性向上に寄与する技術開発を行うなど（日）、バイオ技術分野においても共創に取り組んでいます。^{※5}

< グアユールを使用したレースタイヤについて >

ブリヂストンはモータースポーツ活動を通じて、タイヤの限界性能を追求する技術の研鑽につとめています。本年 8 月 7 日に米国・テネシー州（ナッシュビル）で行われた「NTT INDYCAR® SERIES」ビッグマシーン・ミュージックシテイ・グランプリではグアユール由来の天然ゴムをタイヤのサイド部分に使用した「Firestone」ブランドタイヤが初めて装着されました。時速 200 マイル（約 320km）を超えるスピードでレースが展開されるなど、高速、高耐久が求められる北米最高峰のフォーミュラカーレースで、グアユール由来の天然ゴムを使用したタイヤの安全性と運動性能が証明されています。この取り組みは、サステナブルなモータースポーツを通じて心を動かすモビリティ体験を支える活動の一つです。



グアユール由来の天然ゴムを使用したレース用「Firestone」ブランドタイヤ

<米国・アリゾナ州での活動について>

ブリヂストンはより多くの地元農家と協力関係を構築しており、今後 1 年間でも新たに 350 エーカー（約 1.4km²）の土地にグアユールの植栽を行う計画です。米国・アリゾナ州中部で、水不足の深刻化により不作だった農地をグアユール収穫用に転換するこの取り組みは、同地域で灌漑に用いるコロラド川の水不足の解決に積極的に取り組んでいる NGO の Environmental Defense Fund と合意して実現したものです。

ブリヂストンは、環境長期目標で、2050 年を見据えたカーボンニュートラル化、100%サステナブルマテリアル化を目指して、バリューチェーン全体で持続可能な社会の実現に向けた取り組みを強化、加速しています。タイヤの原材料である天然ゴム資源を再生可能資源として持続的に確保していくためにも、代替原料としてのグアユールの実用化やパラゴムノキ由来の天然ゴムの生産性向上に向けた研究開発など、天然ゴム資源の多様化と拡充に向けた取り組みを推進しています。その一環として、使用済タイヤを新たな再生資源として原材料に戻す技術を探索すると共に、合成ゴムやカーボンブラックなど本来石油由来の原材料を再生資源、再生可能資源で置換するといった取り組みにも挑戦しています。^{※6}

<ご参考>

ニザール・トリギィ（ブリヂストン アメリカス インク CTO 兼 グループプレジデント（ソリューションビジネス担当））のコメント

我々は、天然ゴム資源の極めて重要かつ戦略的な代替原料として、グアユールの持つ可能性に大きく期待しており、今回、2030 年の事業化に向けて大きな一歩が踏み出せることを大変嬉しく思います。グアユールへの取り組み強化は、天然ゴムを海外から調達することに伴う環境への影響を低減するとともに、米国南西部の地域がかねてより抱える気候問題の解決につながるより持続的な農業システムの構築に貢献します。すなわち、グアユールへの取り組みの強化は、環境面、経済面双方において大きな効果があると考えています。

※1 1 ドル = 125 円にて算定

※2 ブリヂストングループは、「2050 年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」というビジョンの実現に向けて、企業コミットメント「Bridgestone E8 Commitment」を制定しました。これを未来からの信任を得ながら経営を進める軸とし、ブリヂストンらしい「E」で始まる 8 つの価値（Energy、Ecology、Efficiency、Extension、Economy、Emotion、Ease、Empowerment）を、ブリヂストンらしい目的と手段で、従業員・社会・パートナー・お客様と共に創出し、持続可能な社会を支えることにコミットしていきます。

<https://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/2022030101.html>

※3 「断トツ」とは企業としての目標を指します。

※4 これまでの研究活動

➢ 2015 年 10 月 1 日 「グアユール」由来の天然ゴムを使用したタイヤが完成

<https://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/2015100102.html>

➢ 2021 年 1 月 20 日 NRGene 社との共同研究により「グアユール」の複雑なゲノム配列の高精度な解読に成功

<https://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/2021012001.html>

➢ 2018 年 2 月 17 日 グアユール研究が米国農務省の国立食品農業研究所からの研究開発支援対象として選定

<https://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/2018022701.html>

- 2022年3月30日 Bridgestone Awarded Department of Energy Grant to Advance Guayule Natural Rubber Research (英語のみ)

<https://www.bridgestoneamericas.com/en/newsroom/press-releases/2022/doe-grant-awarded-to-bridgestone>

※5 パートナーとの共創事例

- 2018年2月13日 グアユールの商用化に向けブリヂストン米国子会社と Versalis 社が提携

<https://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/2018021301.html>

- 2021年1月20日 NRGene 社との共同研究により「グアユール」の複雑なゲノム配列の高精度な解読に成功

<https://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/2021012001.html>

- 2021年1月28日 キリンホールディングス株式会社との共同研究により「グアユール」由来の天然ゴム生産性向上に寄与する技術の開発に成功

<https://www.bridgestone.co.jp/corporate/news/2021012801.html>

※6 Bridgestone 3.0 Journey Report (統合報告_2022)、探索事業について

https://www.bridgestone.co.jp/ir/library/integrated_report/index.html

https://www.bridgestone.co.jp/ir/library/integrated_report/pdf/ir2022_47-52.pdf

以上

本件に関するお問い合わせ先

< 報道関係 > パブリックリレーション部門 グローバル広報部 TEL : 03-6836-3333

< お客様 > お客様相談室 TEL : 0120-39-2936